

from the world
世界の国から

ベトナム社会主義共和国

Socialist Republic of Vietnam



ディン・マン・フン氏

ベトナム商工会議所
中小企業促進センター次長

Mr. Dinh Manh Hung
Deputy Director, Small and Medium
Enterprise Promotion Center
Vietnam Chamber of Commerce and
Industry (VCCI) (Hanoi, Vietnam)

首都 ハノイ
面積 約33万平方キロメートル
人口 約8,579万人
(2009年4月1日時点国勢調査)
政体 社会主義共和国
元首 チュオン・タン・サン国家主席
言語 ベトナム語
通貨 ドン



安定的な発展を目指す親日の国



ベトナムのメガネ工場(写真提供:日本精密株式会社)

裾野産業の育成

ベトナムには日系企業が既に1千社近く進出しており、また2009年10月には日本とベトナムとの間で経済連携協定(EPA)が発効したこともあり、これから両国の関係はますます緊密化すると思われまます。しかしながら、ベトナムでは製造業を支えるいわゆる「裾野産業」がまだ十分に発達しておらず、今後ベトナムの安定的な経済成長にはその強化・育成が不可欠です。この度の来日目的は、高い技術を持つ日本のサプライヤーにベトナムへの進出を促すこと、またベトナムのサプライヤーを日本企業にアピールすることです。

今回は約2週間の滞在中に、富山と名古屋でセミナーを開催したほか、東京はじめ、福岡、広島、大阪、浜松などで数多くの企業・団体関係者と個別に面談することができ、好感触を得ました。また、複数の企業の工場やショールームを見学し、日本企業の技術力の高さに改

めて感心するとともに、ベトナムは技術、経験、マネジメントなど多くのことを学ぶ必要があると感じました。

ベトナム企業情報を紹介

ベトナム商工会議所は、ベトナム企業の情報をデータベース化し、ベトナムへの進出を検討している外国企業に広く紹介しています。データベースには機械、プラスチック・ゴム、電気・電子、エネルギー、工業サービス、その他の6分野に分類された企業の詳細情報がベトナム語と英語で登録されています。現在の登録企業数は480社ですが、2012年6月までには約600社に増やす予定です。ベトナムのサプライヤーや合弁相手を探している企業には私共がご希望に応じて候補となる企業を紹介します。また、ベトナムに進出している企業であれば日本企業でも登録が可能です。

日本企業が進出しやすい ビジネス環境

既に数多くの日本企業が進出していることからわかるように、ベトナムは日本にとって馴染みやすい国です。若く、勤勉で、優秀な労働力を確保することは難しくありません。また、JICAなどの協力を受けて職業訓練のさらなる充実も

図っています。

インフラも整いつつあります。電力が不足気味ですが、政府は再生可能エネルギーの開発や水力・火力発電所の建設に積極的に取り組んでいます。また、送電網を整備し近隣諸国からの輸入を強化しており、課題は解決に向かっていきます。また、ハノイやホーチミンでは交通渋滞が問題になっていますが、既に地下鉄建設プロジェクトがスタートしており、渋滞の緩和につながると期待されています。

ベトナムは中国や他の東アジア・東南アジアの市場に近く、今後アジアの経済発展の可能性を考えると地理的に非常に有利な位置にあると言えます。日本からもそれほど遠くありません。日本とベトナムは政府レベルでも民間レベルでも大変友好的な関係にあり、ベトナム人の対日感情も非常によく、食事やセキュリティの問題もありません。この関係をさらに発展さ

せるためにも、多くの日本企業がベトナムに進出し、またベトナム企業と提携することを期待しています。



世界遺産・ハロン湾
(['とらべった旅行記']より)